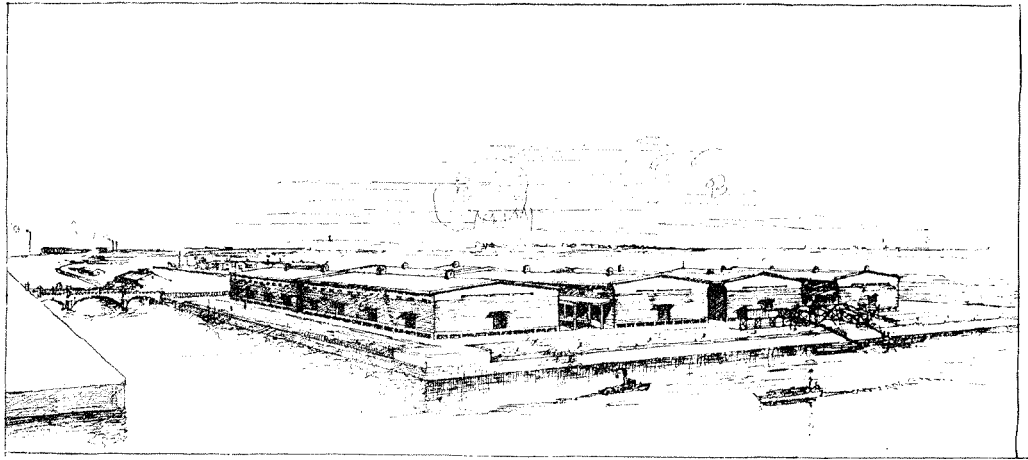


農 林 省 東 京 倉 庫 全 景



(1) General View of the Tokyo Rice Granary, the Ministry of Agriculture and Forestry.

農 林 省 東 京 倉 庫 新 築 工 事

米 穀 貯 藏 設 備 の 一 新 例

—— 國民生活の安定と技術的施設の調和 ——

農林省米穀倉庫建築主任技師 田 中 秀 夫

米價の調節を目的として、政府が新に建築せんとする全國數箇所の大貯藏倉庫は從來内外に類例のない新様式になつたもので、東京、大阪及び酒田の倉庫は最近竣功した、技術的にも、社會的にも注意すべき重要な工事である。(編者)

大正十年四月 政府に於て米穀法の實施に伴ひ米穀の數量並に市價調節の任務遂行上、常時相當多量の米穀を保有するの必要を生じたるが爲め、全國の樞要地に米穀貯藏倉庫——常平倉を設備するの計畫を定め、大正十一年以降東京に於て三十萬石、大阪に於て二十萬石、其の他山形縣酒田町、門司市等に建設中なるが、當東京倉庫は略竣工せるを以て茲に其概要を述べん。

本米穀倉庫計畫 畫 に當りては米穀の長期、且つ大量の貯藏に適せしむるを目的とするものにして、勿論特種の構造に成り内外に例を見ざるものなり。

其の貯藏に當りては粳、玄、白、何れに依るか、尙俵、袋、バラの何れを撰むべきかを定むるが先決問題なるが、現今の狀態に於ては俵又は袋を廢する事は其實行容易ならず、又外國に於けるが如くグリーンエレベーターの如きビンに於ける貯藏は經濟的に理想に近きものならんも、バラ貯藏に非ざる俵又は袋に於ては之を利用なす事を得ず、故に本倉庫にては玄米の俵若しくは袋積を標準せり。

玄米貯藏 畫 に就いては溫度濕度等に就いて、就中其變質を防ぐ爲に特別の注意を要し、出來得べくんば一定の溫度、并に濕度の寡少なるを必要とするが故に、外

氣の溫度に左右せられざる、且つ又我國の如き濕度の高き點を考慮して密閉式倉庫を採用せり。

其他水、火災、鼠害等の點を考慮し、次の如き構造とす。

構造概要

- 一、所在地 東京市深川區濱園町
- 二、敷地坪數 一萬七千七百八十二坪四一

(大正十二年一月東京市より買收)

三、倉庫棟數及建坪 十三棟八千七百二十一坪

倉庫記號	棟數	建坪(平米)	米穀貯藏石數	起工年月日	請負者
い、ろ、は、に	4	2,448坪	67,500石	大正12.2.16 大正13.11.20	戸田組
は、へ	2	1,520	42,000	大正12.7.23 大正14.2.23	鴻池組
と、ち、り	3	2,295	63,000	大正13.7.25 大正14.8.31	森田工業部
ぬ、る、を、わ	4	2,448	67,500	大正14.4.1 大正15.2.28	鴻池組
計	13	8,721	240,000		

構造の概要

本建物は主體鐵筋コンクリート造、床吹抜、平家建にして高き地盤より軒蛇腹上迄二十八尺五寸とす。

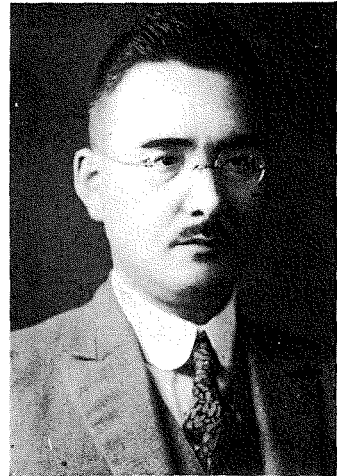
基礎

建物下總堀となし、周圍山留矢板杭、内部全體松杭打地形とし、之に鐵筋コンクリート基礎盤を構成し柱及束を安定支持す。

壁體

外壁鐵筋コンクリート造とし外面タイル張若はモルタル塗

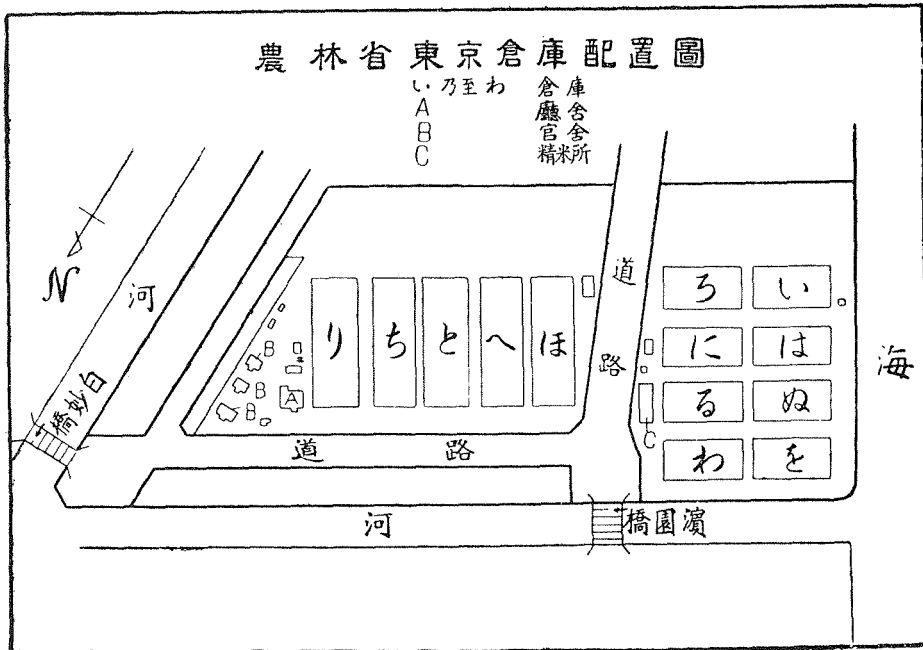
内側にはアスファルト塗、空洞煉瓦積、モルタル塗又はコルク張を施して庫内に於ける濕度の調節に資し、間仕切壁は鐵筋コンクリ



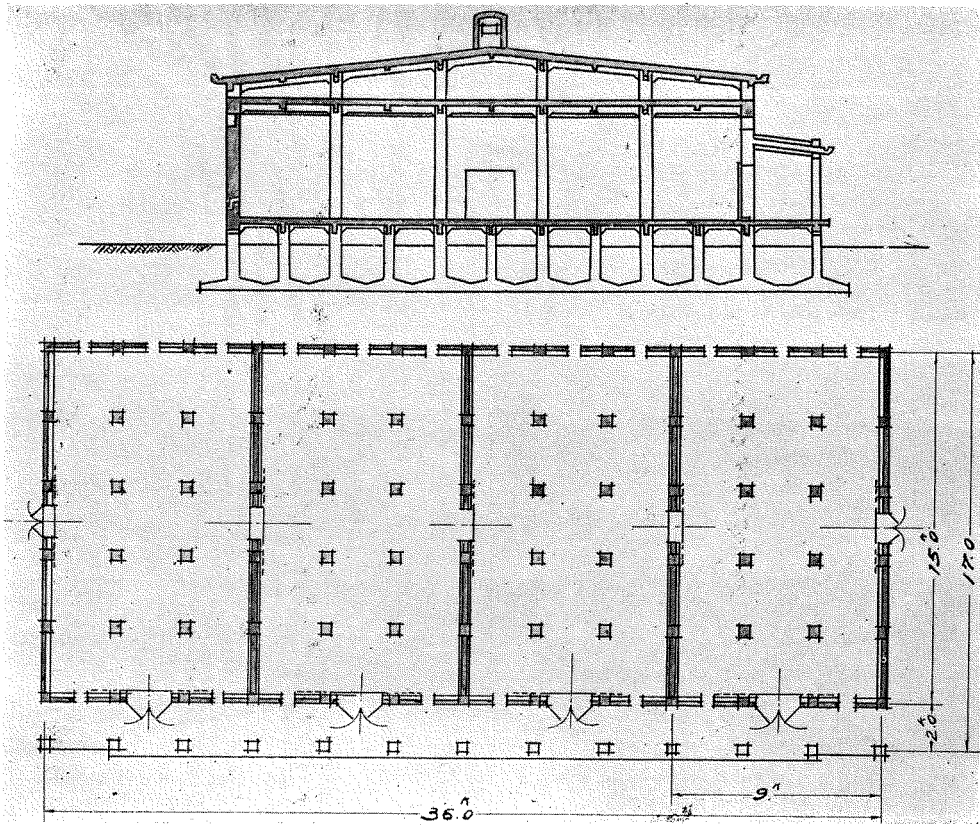
農林省米穀倉庫主任技師 田中秀夫氏

(2) Mr. H. Tanaka, Chief Engineer for Construction of the Rice Granary.

(3) Arrangement of the Tokyo Rice Granary.



農林省東京倉庫橫斷面及平面圖



(4) The Tokyo Rice Granary: Plan (below), Cross Section (above).

ート造モルタル塗し何れも荷摺木を取設く

床 は鐵道引込線の設置及び不時の浸水を考慮して、高さ地盤上四尺五寸、鐵筋コンクリート版上にアスファルトをなし、床下は吹抜として防濕に資す。

天井 高二十一尺をなし、鐵筋コンクリート版上面モルタル塗又はコルク張、内面水性ペイント塗す。

屋根 一寸勾配鐵筋コンクリート版上に防水層を施す。之を天井との中間は吹き抜きとなり、此の空氣層は以て防暑に資す。

換氣装置 床、側壁及天井に換氣孔を、屋根に換氣塔を設け自然換氣に資するの外、尙天井裏に電動力に依る通風

機を設く。

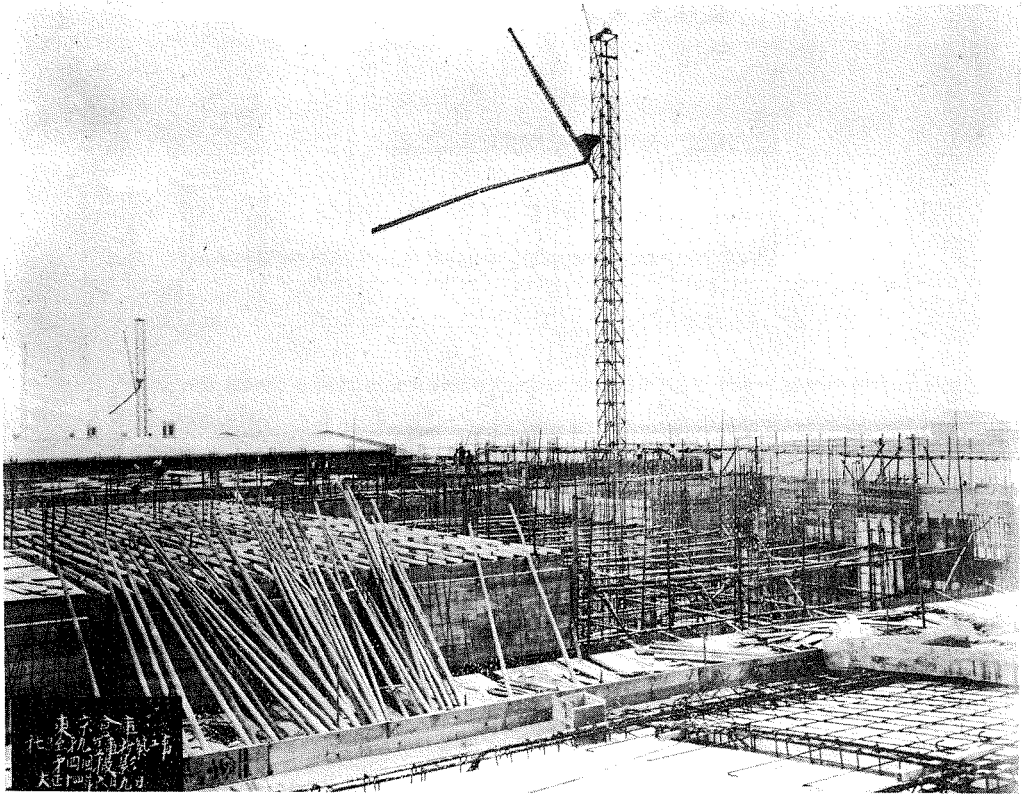
諸設備 荷役用として電動力に依る搬送機を備へ又専用消火栓を設く、其他照明並動力用として配電設備を有す。

其他建物 倉庫の外廳舎、官舎、精米所等を設く。

精米所には一時間に付四石の搗精能力を有する精米機八臺を備へ付く。

工事關係者 本倉庫建築の設計及び監督は農林省農務局經理課の主管する所にして、直接關係者の主要なるもの次の如し。

農務局長 石 黒 忠 篤
 經理課長 高 橋 武 美
 (前)經理課長 入 江 魁



(5) 農林省東京倉庫第七乃至第九倉庫
新築工事大正十四年六月九日撮影

(5) Nos. 7, 8 and 9 under
Construction.

建築主任 技師 田 中 秀 夫
 設 計 囑託 松 井 清 足
 設 計 技師 齋 藤 眞 六
 工事監督 囑託 金 窪 定 次
 機 械 囑託 竹 中 二 郎
 機 械 技師 樋 口 秀 雄

空洞煉瓦 (普通品) 1,564,000本
 荷 摺 木 (杉丸太) 9,220本

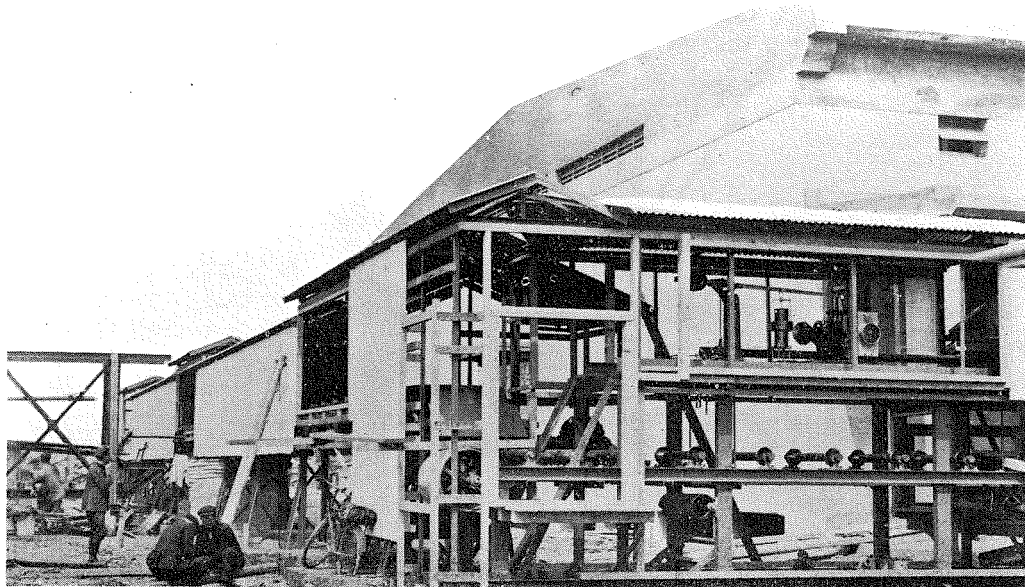
職工及人夫 本工事に従事したる職工及人夫の延人員約二十萬人をこす。

經 費 工事費大約左の如し。

工 事 用 諸 材 料 本工事に使用せる主要材料の概數を示せば左の如し。

矢 板 (米 松) 8,976枚
 松 杭 (内地松材) 80,500本
 割 栗 石 1,640立坪
 砂 利 4,860立坪
 砂 2,640立坪
 セメント(淺野、日本、大分、豊國) 71,350樽
 鐵 筋 材 (八幡材) 4,670瓊

イ、敷地買收費 800,208圓餘
 ロ、倉庫建築工費 3,155,284圓餘
 ハ、廳舎及官舎 49,829圓餘
 ニ、精米所(機械共) 45,347圓餘
 ホ、搬送機 78,404圓餘
 ヘ、通風機 25,420圓餘
 ト、電燈電力設備 58,713圓餘
 チ、雜設備 169,368圓餘
 合 計 4,382,573圓餘

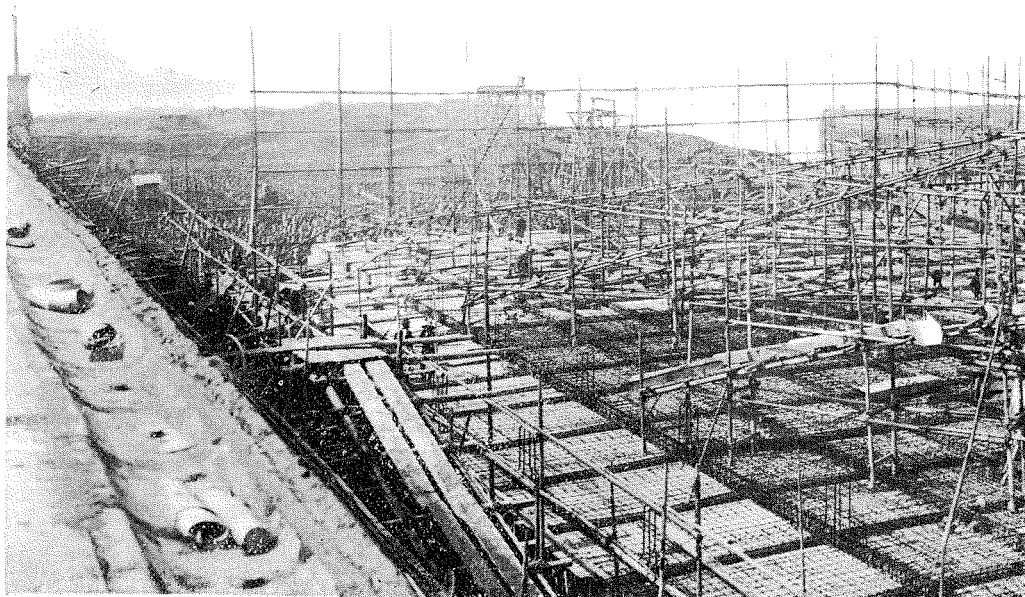


(6) 農林省東京倉庫荷揚機械設備
大正十四年三月十九日撮影

(6) Installation of Unloading
Machinery.

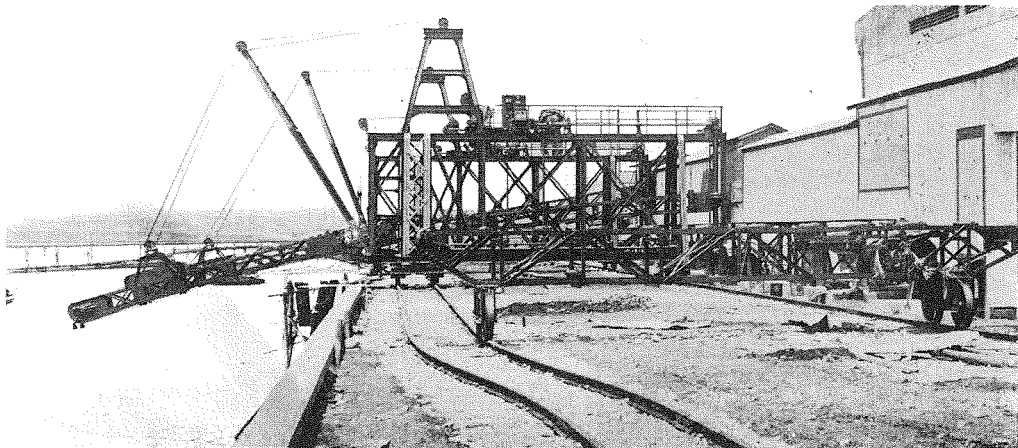
ウッドエプロン式ベルトコンベヤー取付中に
して、コンベヤーの能力一時間 100噸、自働秤量
機付である、製作者は大塚工場、小松製作所等で
2 馬力乃至 7.5 馬力の電働装置である。

此コンベヤーは米俵及び米袋を搬ぶもので速
度は割合に緩かに設計されたが、延長 150 間の間
を同滑に搬送し得る様に、継ぎの處には特種の設
計がある。



(7) 農林省東京倉庫第十乃至第十三倉庫
新築工事大正十四年十月十九日撮影

(7) No. 10 to No. 13, under Construction.

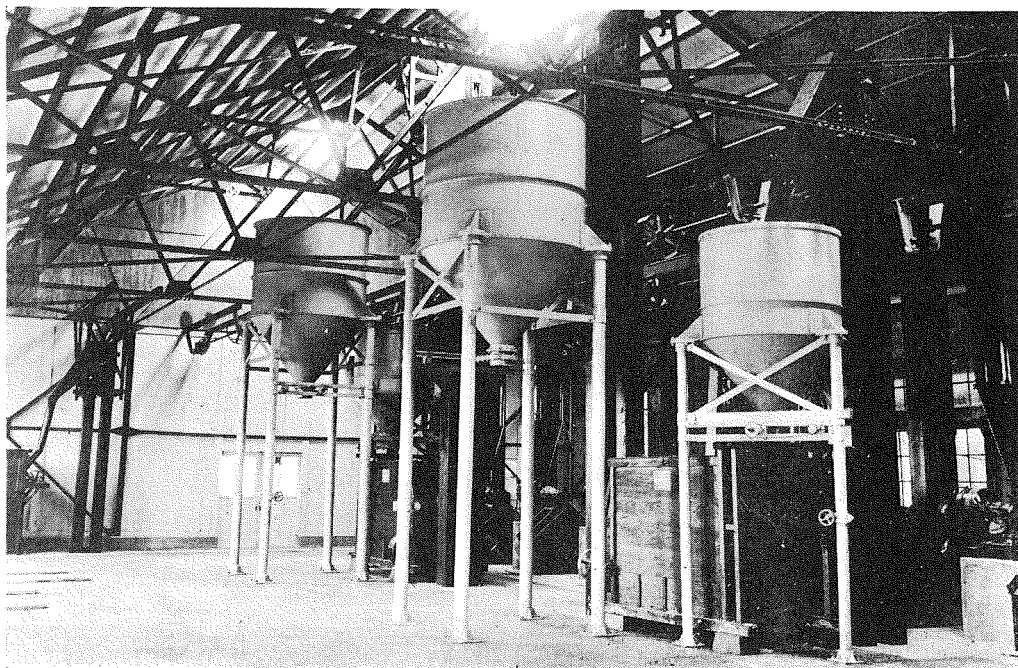


(8) 農林省東京倉庫荷揚機械設備
大正十四年四月十日撮影

(8) Movable Unloading Equipments.

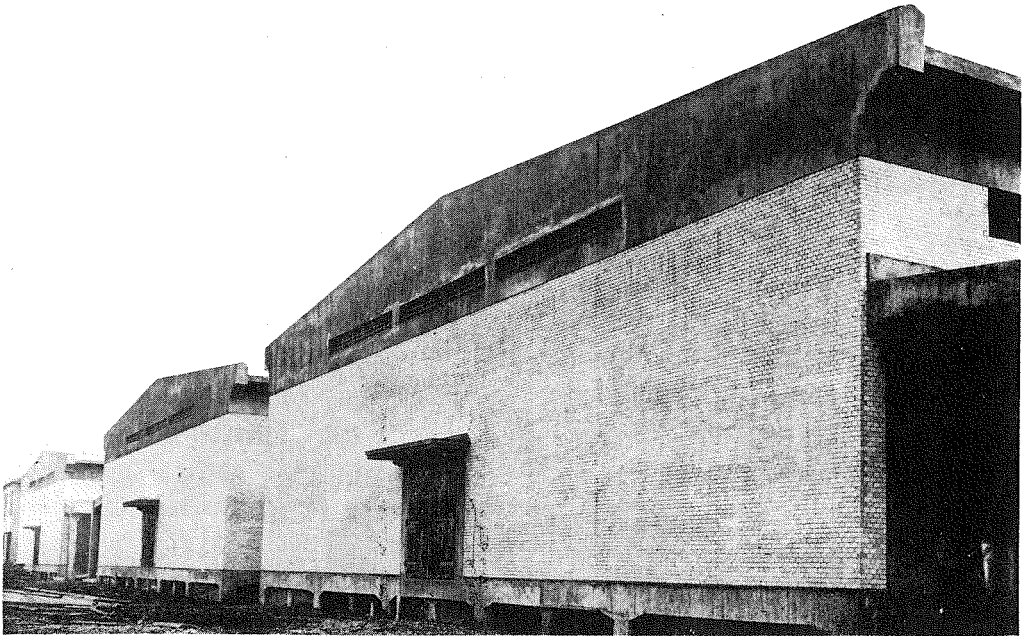
荷揚機は能力一時間 100噸のもの 1臺
で特種設計になる ポータブル、アンロー
ダー、ベルト、コンベヤー電働 7.5 馬
力のものである。

精米機は清水式で能力一時間十俵の
もの 8臺、原動機は 7.5 馬力、清水廣吉納
入、



(9) 農林省東京倉庫精米機製作並据付
工事大正十四年十一月十二日撮影

(9) Rice Cleaning Mill at the
Tokyo Rice Granary.



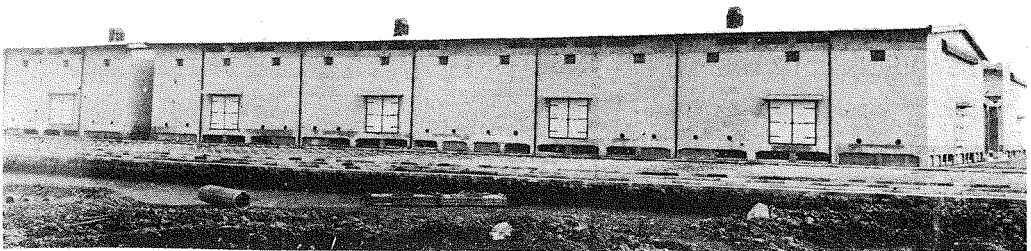
(10) 農林省東京倉庫第七乃至第九倉庫新築工事

(10) Front View of Nos. 7, 8 and 9 Rice Granary.

大量と長期の貯藏であるから、米の變質を防ぐ爲の新設備が充分に出來てを、窓及び床や天井の吹抜等は此寫眞及び断面圖で豫想出来るが、尙ほ通風機が各室に一臺宛備へつけられて室内の空氣を吸ひ出す様になつてゐる。通風機は一分間 1,500 立方呎の能力あるもので 1/2 馬力のもので一室に付一臺ある。之は日立製作所製でマルチブレードファンと稱する様式のものである。

寫眞に就て 農林省東京倉庫の工事寫眞も參考となるものが尙澤山にあるが紙面の都合で割愛した。

東京倉庫の廳舎の寫眞も既に製作出來したが遂に掲載出來ないのは残念である。廳舎は鐵筋コンクリート二階建てで延坪 140 坪、此所が東京米穀事務所となつて、政府米の運用及び貯藏事務を執るのである。位置は第 2 圖の配置圖の通りである。



(11) 農林省東京倉庫第十乃至十三倉庫新築工事大正十五年三月九日撮影

(11) Some of the Rice Granary, just Completed.